



支部全体 203人 (6月1日現在) 発行者 高木信行 編集 村上邦忠

皆様こんにちは。本年度より、東部地区／女性活躍担当を務めることになりました「出島」です。3年前に退職し、大阪から地元の広島県尾道市瀬戸田町（生口島）に転居して、松愛会の西中国支部にお世話になっております。人とお会いしてお話をするのが好きです、どうぞよろしくをお願いします。



出島支部役員

さて、私の住んでいる生口島はレモン発祥の地と言われており、温暖な気候をいかして柑橘類の栽培が盛んです。私の実家も専業農家で、温州みかんをはじめとして、八朔・ネーブル・デコポン・レモンなど20種類以上の柑橘を作っており、今は実家の農業手伝いをしています。柑橘の収穫時期は10月～1月ですが、3月の土づくりから始まり、春は木の剪定・防除・夏は摘果・水やり・秋冬は収穫・選果・箱詰めなど1年中作業があります。

自然が相手の仕事なので、雨や台風・気温なども気になるのですが、ここ10年くらいは気候変動により柑橘の開花や色付きが早くなる傾向があり、また雨不足により酸っぱい柑橘ができたりとなかなか難しいようです。その様な中ではありますが、柑橘の収穫時期は楽しいです。たわわに実った瑞々しいみかん、まっ黄色になったレモンの収穫など、こちらも柑橘の木に応援されている気持ちになります。

先日、畑で脚立に上り摘蕾（果実がなりすぎる場合に、蕾の時に摘取る）をしていると、指先に何か柔らかい物が触れ、はて？と置いていたら1メートルくらいの蛇が木から落ちて急いで草むらに逃げて行きました。私も驚きましたが、木の上で休んでいる所を邪魔された蛇も大いに迷惑だったでしょうね。

自然とも共存共栄。これからもできる範囲でやっていこうと思います。

友 愛 訪 問

7月		
住本 高志 さん	87歳	広島西部

お誕生日おめでとうございます！支部役員又はサポーターからご連絡申し上げます。

8月		
田中 昭次 さん	90歳	広島西部
渡邊 元治 さん	89歳	広島東部
市川 道樹 さん	82歳	

おめでとうございます

7月	古希	原嶋 仁志 さん	山口
----	----	----------	----

※本年度から「古希」もお祝いの対象となりました

弔事のお知らせ

4月11日	山本 里士 さん	享年86歳	山口	こころよりご冥福をお祈りいたします
-------	----------	-------	----	-------------------

2024年度 西中国支部 年次大会 ご報告

本年度の支部年次大会は会場を広島国際会議場に変更し、5月26日(日)10時30分から、29人+来賓4人 計33人の出席で開催されました。

冒頭 昨年度及び本年4月にご逝去された10人の方に対し黙とうを行い、会議が始まりました。

高木支部長が議長に選任され、議案書に基づき昨年度の活動内容報告があり、その特筆すべきこととして

○11月に70歳・75歳を対象とした節目懇談会(広島西部)を実施した。

○山口ではボーリングの代わりに家族参加型の健康ウォーキングが開催され、3組の夫婦が参加された。

これは従来のご本人を対象とした行事だけでなく、新しい企画として家族参加型の行事開催にヒントをいただいた。

これらの行事の出欠確認などの連絡には、郵便料金などのコスト増と多くの時間を要するなど大きな課題でもあり、改めての皆様へ個人認証登録(PC・スマホの活用)をお願いするものです。

○80歳以上の方に友愛訪問としてパナソニックのカレンダーをお届けし、喜んでいただいた。本年は世界遺産シリーズのカレンダーは作らなくなるとの事で、他のカレンダーについて検討をすすめる。と報告されました。

続いて本年の活動方針の説明があり、新しい活動として

○2年ごとに皆さんの動静確認・支部活動へのご意見・連絡方法の確認などのダイレクトメールを検討し実施したい。(本年は郵便料金が増える前に)

○60歳・65歳を対象に地元企業のオタフクソース工場見学(お好み焼体験)を兼ねた節目懇談会の実施(日曜日に。女性が中心となり企画)

○家族参加型で地元ボランティアガイドを同行した健康ウォーキングを企画したい。などの方針説明がされました。

続いて予算案の説明があり、コストの削減がポイントとなる事が強調されました。

次に事前にいただいた質問や要望に関する回答及び説明があり、議事は終了し拍手で一括承認されました。



高木支部長

続いて本部から出席いただいた上床事務局長から挨拶・昨年の活動・本年の方針や大きなイベントの説明があり、年次大会が終了しました。

次に、パナソニック関西万博担当の榎野さんから来年の万博に関する説明とチケット購入のお願いがありました。

この後集合写真撮影と広島平和記念資料館の視察を行い、懇親会に移りました。



上床事務局長



岡崎 健さん

懇親会は本年喜寿を迎えられる岡崎健さんによる乾杯の発声でスタートし、

今回の懇親会は昨今の大幅な諸物価高騰を受け新たな試みとして、お弁当と缶ビールでの開催としました。

出席の皆様にも今後の「新春懇親会」「支部年次大会」での懇親会のありかたをアンケートにてご意見を伺いました。

同好会の活動報告の後 16年前から変わった社歌改め「グループソングの紹介」があり、大抽選会では 33 人中 13 人に賞品が当たり、濱垣内さんが最高額の賞品を Get されました。

本年が 84 歳の年男「横谷さん」による中締めが行われ、カラオケ同好会のメンバーが先導し、恒例の「ああ人生に涙あり(水戸黄門)」を全員で歌いお開きとなりました。会場の出口では樽募金を行い「23,710 円」が集まりました。皆様のご厚意は「あしなが育英会」に寄付させていただく予定です。



濱垣内さん



支部のホームページには多くの写真を掲載しますので、ご覧ください。

元気で頑張る岡本さんのご紹介

今回は広島東部の岡本敬三さんが8年前にヒマラヤトレッキングに行かれた時の紀行文と美しい写真をいただきましたので、その前編をご紹介します。※後編は9月号でホームページには全文と写真を掲載いたします。(写真は是非拡大してご覧ください)

「エベレスト街道」ヒマラヤトレッキングの思い出

私がヒマラヤトレッキングに行ったのは、2016年10月でした。

きっかけは、その5年前に妻が突然脳腫瘍を発症し、入院、自宅療養を経て1年半後に亡くなったことが伏線にあります。

突然のことで落ちこんでいた私を、学生時代の同じクラブの先輩が、アマチュアカメラマンでもあったので、世界の絶景を巡る旅に誘ってくれました。



岡本 敬三さん



最初はフランスの美しい村、続いてアイスランド・グリーンランド・ウユニ塩湖と行っているうちに、ヒマラヤトレッキングの話が出てきましたが、国内の千数百mの山歩きしか経験がなかったので即座に断りました。

死ぬまでに富士山に一度は登ってみたいという程度の願望はありましたが、ヒマラヤなんてとんでもない。まして当時二人共60代後半ですから、行き倒れになるかもしれないからと言って断り続けました。

しかしながら、何度も何度も熱心に誘われるので少し気の毒になり、まあ冥途の土産に行ってみてもいいか、先輩も体力はあまりかわらないだろうから、とついOKしてしまいました。

旅行が決定したといっても本格的なトレッキングをやっていたわけでもなく、知識もなかったので準備が大変でした。とりあえずスポーツ用品店で80L以上の大型リュックから、靴下帽子に至るまで、言われるままに買い揃えました。

この旅行は、ネパール滞在が26日、トレッキングはその内約17日という行程でしたが、ツアーへの参加ではなく、個人旅行扱いだったので、現地旅行社との打合せが大変だったと思いますが、ネパールの経験が豊富な先輩が全てやってくれたので、楽でした。



(続きは9月号に掲載いたします)